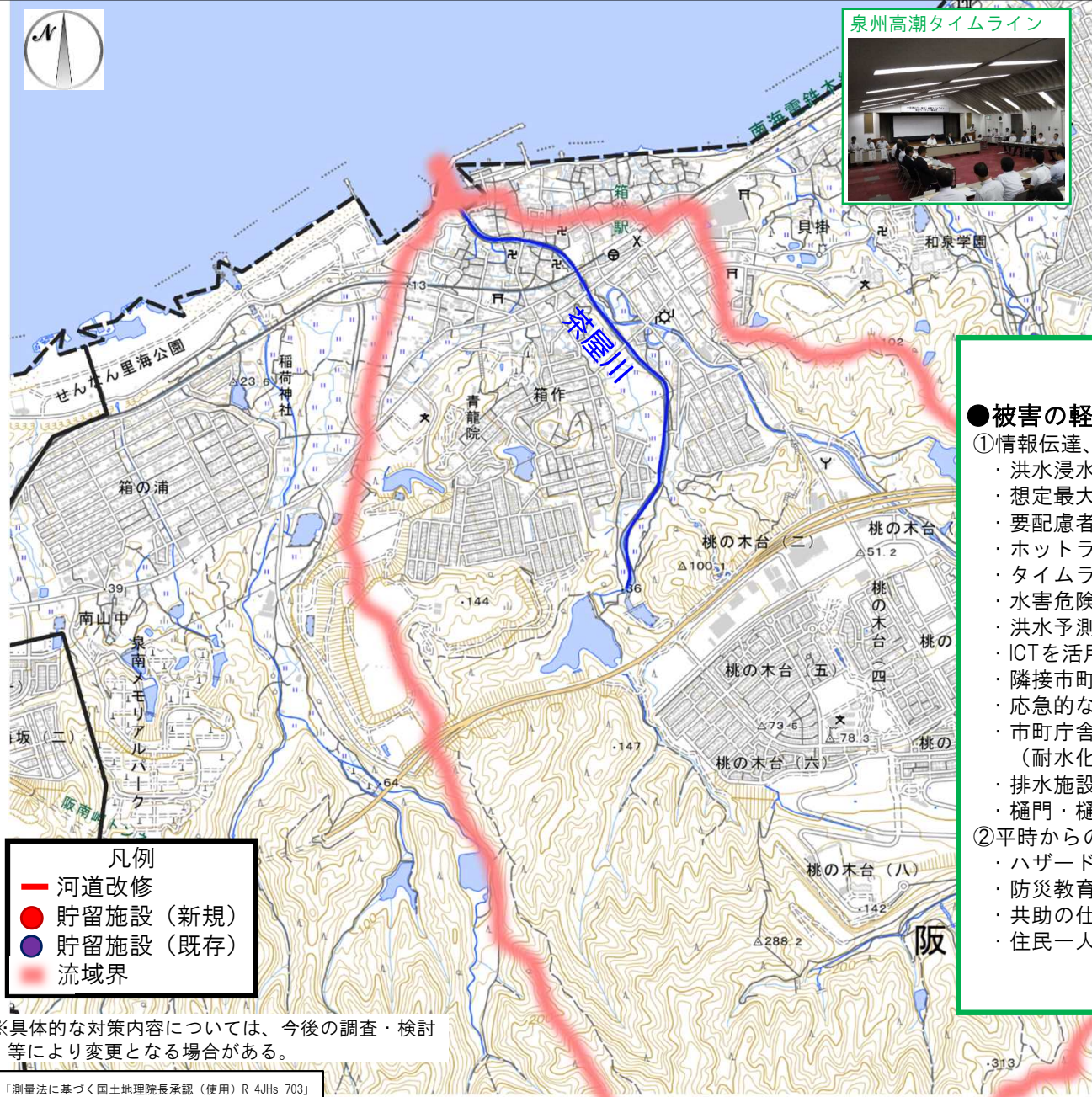


○茶屋川水系では、時間雨量80ミリ程度の降雨を対象とした河道改修が完了している。



泉州高潮タイムライン



## ●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道維持管理【府】
- ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・市・民間】
- ・下水道等排水施設の整備(要確認)
- ・治山施設・森林の整備及び保全【府】

## ●被害対象を減少させるための対策

- ・土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度
- ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

## ●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### ①情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
- ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市】
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施【府・市】
- ・ホットラインの運用(洪水・土砂・高潮)【府・市】
- ・タイムラインの策定・運用(広域・市町域・地域)【府・市・民間】
- ・水害危険性の周知促進【府】
- ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
- ・ICTを活用した洪水情報の提供【府、気象台】
- ・隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等【府・市】
- ・応急的な退避場所の確保【市】
- ・市町庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電機等の整備)【市】
- ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府、市】
- ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市】

### ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等

- ・ハザードマップの改良、周知、活用【府、市】
- ・防災教育の推進【府、市】
- ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市】
- ・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)・情報マップの作成促進【府、市】等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

●茶屋川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】 洪水・雨水出水浸水想定区域の指定
- 【中期】 河道内の堆積土砂撤去などの維持管理および気候変動の影響を踏まえた流域治水の検討
- 【中長期】 河道内の堆積土砂撤去などの維持管理および気候変動の影響を踏まえた流域治水の検討

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	気候変動の影響を踏まえた流域治水の推進	大阪府		調査・検討	
	ため池の治水活用	大阪府・阪南市・民間			
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府	調査・検討	定期点検による継続監視の実施及び堆積状況に応じ適宜除去実施	
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府・阪南市			
	水害リスクの低い地域への居住誘導（立地適正化計画の策定等）	阪南市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・阪南市・民間・気象台	洪水浸水想定区域指定拡大完了(R4年度)		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・阪南市		雨水出水浸水想定区域図作成・公表(R7年度)	

## 河川整備等による効果

現 状

時間雨量80ミリ程度（1/100）の降雨を対象とした河道改修が完了。引続き、河道の維持管理を行う。



※この図は、氾濫シミュレーション時点（R1）の施設整備状況において、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率:100%

(令和5年度末時点)

農地・農業用施設の活用



0市

(令和5年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等  
0施設

(令和5年度末時点)

山地の保水機能向上  
および  
土砂流木災害対策



治山対策 1箇所  
土石流対策 0施設

(令和5年度実施)

立地適正化計画に  
おける防災指針の作成



1市

(令和5年度末時点)

避難のための  
ハザード情報の整備



洪水浸水  
想定区域 1河川

雨水出水  
浸水想定区域 0団体

(令和5年度末時点)

高齢者等避難の  
実効性の確保



避難確保  
計画 10施設  
土砂  
高潮 4施設  
8施設

避難訓練 0施設

(令和5年9月末時点)

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km <sup>2</sup> )
茶屋川	2.0	5.62



◇現況河道（茶屋川）  
時間雨量80ミリ程度の降雨を対象とした改修完了

## 被害対象を減少させるための対策

### 阪南市の立地適正化計画策定の取組

熊取町では、平成30年8月に立地適正化計画を策定し、災害リスクの高い、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域及び想定最大規模降雨で浸水深が3m以上となる区域を居住誘導区域から除外している。また、防災指針を作成し、防災まちづくりの取組方針を定めている。

阪南市立地適正化計画の概要

- 1. 策定の目的**  
熊取町では、今後さらに人口減少・高齢化が進むなか、地域の活力を維持するとともに、健康・福祉・産業等の生活機能を確保し、適切な集約の方向で取り組んでいくことが重要課題となっています。このような課題に対応し、立地適正化計画を策定することにより、都市生活の持続可能性の確保、国土の確保、公共施設の活用、災害・脆弱から安全な居住環境の確保をまちづくりの重要な目標とするべく、この計画を策定します。また、防災指針を策定し、防災まちづくりの取組方針を定めています。
- 2. 人口の将来見通し**  
阪南市においても、世帯数（国立社会政策人口総研研究所）の将来推計に合わせた人口総推計では、2040年までに世帯数と人口の減少が見込まれます。  
  - 2010年の人口総推計
  - 2040年の人口総推計
- 3. 主なターゲットとめざすべき社会**  
今後、さらに人口減少や少子高齢化の進展、生活コストの高騰の下、1人あたりの行政コストの増大が各自治体で懸念されていることから、「阪南市統合計画」に基づいた人口削減とともに、その削減の目標値を掲げたいと考えています。  
  - 特に、少子高齢化の進行が懸念されており、高齢者に対する高齢者の確保づくりや生活費の削減、若い世代、減少する子育て世代が子育てしやすい環境づくりを取り組むこと、高齢者や子育て世代をターゲットとした多様な交流の促進をまちづくりの重要な課題とします。
- 4. 立地適正化に向けての基本的な方向性**  
まちづくりに向けた取組・課題を踏まえるため、立地適正化に向けた基本的なテーマを掲げて取り組む。実現が期待されるコンパクトシティの実現、国土・地域に特有な脆弱な立地を想定し、人口・産業集約がもたらす（キックバック）を持つことで、人口が減少しても必要とされるまちづくりをします。
- 5. 公共交通を軸とした将来のまちの骨格**  
公共交通を軸とし、地域ごとに特徴を持つまちづくりの視点と市民が結びつき、歩いて暮らせるまちづくりを推進します。  
  - 緑と水のネットワーク
  - 公共交通のネットワーク

## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 防災マップによる防災情報の提供

阪南市では、洪水、高潮、土砂災害、地震、津波の各ハザードに対して、どの地域が被害にあう可能性があるかを示す災害情報に加えて、指定避難所、指定緊急避難所の指定記載と警察、消防などの防災関連施設を掲載した「阪南市総合防災マップ」を作成し、防災情報の提供を行っております。

General disaster prevention map at Hanshin City  
阪南市総合防災マップ

保存版 2022

避難所、地域防災関係の施設などの、本マップを活用して日ごろの備蓄や地域で話し合い、災害に対する備えをしてください。

外部リンクハザードマップ

English 英語 中国語 韓国語 日本語 英語 中国語 韓国語 日本語

令和4年3月作成